

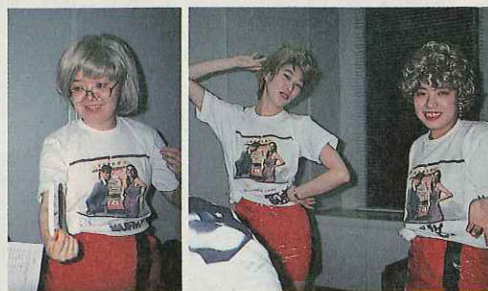
# 読者代表、一日宣伝スタッフの活躍もラスト・スパート。

本誌で公募した「サム・サフィ」を心探する。一日宣伝スタッフ8人(20歳・生命保険会社勤務)、中島かをりさん(26歳・ヘアメイク)、矢野一美さん(24歳・病院勤務)、葉山久美子さん(26歳・商社勤務)の計4名の活動をレポートします。

まずは最初の3名。この7月13日にTV番組に出演してもらいました。「天下分け目の宣伝合戦!! 夏休み36作品一挙公開」(テレビ朝日系「プレステージ」と題した番組で、6人の審査員が、各配給会社が繰り広げる1分間のパフォーマンスに各々得点をつけ、合計得点(60点満点)と同じ秒数だけ作品のプロモーションビデオを流せるという内容。「サム・サフィ」チームは多くのアイデアの中から、結局、写真のように主人公エバのスタイルで踊るパフォーマンスをするスタイルになりました。「金髪のかつらを一度かぶってみたかった」という荒木さん。「仕事を生かして自分でエバ風にメイクしてみた」という中島さん。

「TVに出られるので前日からウキウキしていた」という矢野さん。3人とも全く緊張した様子もなく、明るく元気いっばいにパフォーマンス、健康的なお色気で番組を大いに盛り上げました。一方の葉山久美子さんは、都内

各所で「チラシ配り」。地道な作業ですが、宣伝の基本中の基本がこ



深夜の生番組出演にもかかわらずみんなワクワク元気一杯。写真左・矢野さん、写真右、中島さん(左)、荒木さん(右)

れ。「一見簡単そうに見えますが、案外、人はもらってくれません。でも、『あつ、この映画知ってる』などというアクシジョンがあることでうれしんです」とチラシ配り初体験の葉山さん。猛暑の中を笑顔でがんばってくれました。



チラシ配りに頑張る葉山さん。地道だけど大事な宣伝活動です。

## 『サム・サフィ』'92・8・1公開までの道のり

- '90年3月 処女作である「ガーターベルトの夜」日本公開のための宣伝プロモーションにヴィルジニ・テヴネ来日。この期間に、最新作「サム・サフィ」製作について、巴里映画代表・高野野るみと話し合う。
- '90年11月 パリにてテヴネと「サム・サフィ」プロデューサー、ミッシェル・プロペールに高野が会見。日本側製作を内諾。
- '91年2月 「とらば一ゆ」の「サム・サフィ」協賛決定。
- '91年4月 ファッション・デザイナー、中野裕通氏、「サム・サフィ」の日本側アーチストとして参加を承諾。衣裳製作をすることに。
- '91年5月 「サム・サフィ」クランク・インバルセロナ・ロケからスタート。
- '91年6月 巴里映画と、フランスのトロワジェム・エタージュ、「サム・サフィ」共同製作の契約を正式に行う。ピクチャー音楽産業の出資決定。
- '91年7月 「サム・サフィ」のプルー・ニュー・ロケ、パリ・ロケ終了。
- '91年11月 ワコールの「サム・サフィ」協賛決定。中野裕通氏が製作する「サム・サフィ」Tシャツ(前売り券としての機能つきTシャツ)を、主演女優が着て、雑誌「オーリー」の表紙のモデルになるという企画決定。
- '91年12月 「とらば一ゆ」本誌での「サム・サフィ」シリーズ記事掲載スタート。
- '92年1月 主婦の友社の関連企業、オプトコミュニケーション、続いてテレビ東京が「サム・サフィ」出資を決定。
- '92年3月 主演女優のオーレ・アツテカ来日。フランスのリキユール、グラマンニエが、「サム・サフィ・カクテル」を製作。公開中、劇場などで販売する企画が決定。同じく協賛企業として、ルノーが参入し、ルノーを広報車として活用する企画が決定。
- '92年4月 「とらば一ゆ」主催の完成披露試写会がBunkamura ル・シネマ2にて行われる。ゲストに来日中のオーレ・アツテカ。誌上募集した「サム・サフィ」の邦題コンテストの上位入賞者、一日宣伝スタッフ8人の紹介なども披露される。
- '92年5月 ヴィルジニ・テヴネ来日。ミッシェル・プロペールと、夫のジャック・ド・ガンズブールも同行。カザルス・ホールでのトーク・ショー、イベントと共に2回目の特別試写会が行われる。
- '92年6月 テレビ東京でのTVスポットによる告知広告スタート。
- '92年7月 巴里映画による活字メディア中心の、映画パブリシティは、約180件を越え、パブリシティ活動も、ラスト・スパートとなる。
- '92年8月1日 渋谷・東急Bunkamura ル・シネマ2にて夏休みロードショースタート。以降、九州・シネテリエ天神(9/26より)、名古屋・ヘラルドシネプラザ50 10/3より、大阪・シネマ・ヴェリテ 10/10より、札幌・シネマ11 10/24より他で、ロードショーされる。

**翻訳家**  
石木まゆみさん 39歳  
パリのごく普通の女の子の暮らしぶり、仕事の探し方、いろいろな社会保障としての機能つきTシャツ)を、主演女優が着て、雑誌「オーリー」の表紙のモデルになるという企画決定。



**東急Bunkamura ル・シネマ支配人**  
中村由紀子さん 34歳  
シリアスなドラマを撮ることで有名な映画監督クロード・シャブローが演じた、ホモのかわいいオジサンは必見です。



**ルノー日本営業統括本部 秘書**  
山田文さん 23歳  
「難解」「堅苦しい」といった「フランス映画」の悪いイメージを払拭する、ポップで明るい作品。「自由でうんざり」が秀逸。



一日宣伝スタッフの足として活躍する広報車のルノー。フランスのテストが映画にピッタリ。



**巴里映画 宣伝担当**  
長谷川純子さん 29歳  
見たあと、本当に気分よく幸せになれる。映画を見る楽しみってこういうモノ、と改めて思います。テヴネ・ワールドを全女性に体験してほしい。



**イラストレーター**  
上田三根子さん 42歳  
「不自由→自由」が今までのパターン。「サム・サフィ」で「自由→不自由(アツの生活)」という新しいヒロインの図式が誕生した。



**スタイリスト**  
原由美子さん 47歳  
伊藤も衣裳も、何かか突出して目立つことはなく、それぞれが繊細しいバランス良く映像の中にくまなく溶け込んでいた。



『サム・サフィ』邦題タイトル最優秀賞受賞者  
海老原節子さん 33歳  
「自由でうんざり」というコピーを考えつけたのは、単なる思いつきではなく、自分自身の生活にも本當にうんざりしていたからかも。



(株)オプト コミュニケーションズ アシスタントディレクター  
内藤香里さん 27歳  
キザイア・ジョーンズなどワールドミュージック系アーティストの音楽に注目した。これこそインターナショナル・ムービーでは?



ジャーディン ワインズ アンド スピリッツ(グランマニエPP) 加藤京子さん 31歳  
エバ役のオーレ・アツテカから目が放せなかった。主役のインパクトを最重要視する私の評価はズバリ☆☆☆☆(最高点)。



(株)バス・コーポレーション  
[左] 森戸由子さん 22歳  
[右] 野本加代子さん 42歳  
中野裕通氏のポティオン・マタニティドレスが印象的。(野本さん)シシ役のロジー・デ・パロマの圧倒的な存在感がすごい。(森戸さん)

有名写真家・モンディーノがこの映画のために撮り下した、イメージ写真をポストカードBOOK(全24枚)にしてル・シネマ2、有名書店ほかで好評発売中。(税込1,000円)製作は(株)バス・コーポレーション

